



平成18年度

# 決算認定される

## 一般・特別会計決算

十月十五、十七、十八日の日程で平成十八年度一般・特別会計決算審査特別委員会が開かれた。

## 要注意ラインを10%超す

普通会計の経常収支比率九〇・二%で国県が指導する要注意ライン八〇%を一〇・二%超えている。

## 未収金が増加 税の公平・公正を

歳入では収入未済額（未収金）が市税四億三千万円、国民健康保険税四億五千八百万円、児童福祉負担金（保育料）二千七百万円などがあり、税の徴収率は八八・一%で前年度よりマイナス〇・三%。年々下がっている。

## 未収金増加に多くの質問

徴収率が下がる原因は

景気低迷により生活困窮者や行方不明者の増などであり、実態調査や財産調査を実施し、差し押さえ等を行いながら徴収に努力していく。保育料については、保育現場の職員を含め、班編成をし、徴収に努力していくと答弁を受けた。

## 支出内容 不用額や委託料に意見集中

支出内容や不用額、また事業内容について事業効果の説明を求めた。各種委託料、補助金について多くの質問があった。

特に委託料は、委託内容によつては、市独自でできないか、行政事務の多くが委託に出されておりその効果が十分発揮されるよう指摘された。

## 今後厳しい財政状況

地方交付税の削減等今後市の財政状況は極めて厳しい状況が見込まれる。多額の財政負担を伴う主要施策が先に控えている。

## 財源の効率的配分と経費の節減合理化を

小城市行政改革大綱に基づきプランと小城市財政健全化計画の改革を精査し、歳入確保と歳出抑制による自主財源の確保を行い、財政の健全化に取り組まれ、施策の優先度、緊急度、投資効果を厳しく見極め財源の効率的配分に取り組むべきである。

## 国保の一日人間 ドッグ活用を

特別会計の「授産場」「小柳育英資金」「簡易水道」は特に問題はなかった。

「下水道」については、各処理区の受益者分担金負担金、使用料の収入未収金への質問がでた。

「国民健康保険」で前年度も指摘されていた一日人間ドッグの受診者が少なく今回の決算でも不用額が出ていたのでなお一層のPRに努めるべきである。

最後に一般会計には、若干の意見を付記し、一般会計・特別会計ともに平成十八年の歳入歳出決算は承認した。

## 企業会計決算

十月十六日、平成十八年度企業会計決算審査特別委員会が開かれた。

## 黒字の大幅減 水道事業会計

給水人口は前年度より七十六人増の一万九千四百五人、戸数は四十六戸増の六千四百四十七戸。

十八年度純利益は約二千二百萬円の黒字で前年度比で二千二十九萬円の減収となった。これは工場用の給水収益（JABIバレッジ）の大幅減が原因。

今後の給水収益などを十分把握し、経営の中長期の収支などについて十分に検討すべきとの指摘があった。

## 厳しい赤字経営 病院事業会計

小城市病院は、地域における基幹的な公的医療機関として、地域医療の確保のため重要な役割を果たしているが、十八年度純損失一億四千八百五十三萬円の赤字となり、大変厳しい経営環境にある。

国の「公立病院経営改革指針（案）」が示されており、今後、医師の確保や病床利用率の向上、経営の効率化など抜本的な改革を図らねばならないとの意見があった。



▶松本浄水場